

令和7年度第4回印西市総合教育会議に関するアンケートについて テーマ「子どもの主体性や多様性を尊重した教育をこれからの学校 現場でどう実現するか」

※会議の様子は市 YouTube チャンネルからご覧いただけます。

令和7年度第4回会議のアーカイブは次のとおりです。

<https://www.youtube.com/watch?v=19-HiW1eayI>

いただいた質問とその回答（今回のテーマについて）

ご質問 途中から参加だったので聞き逃したのかもしれませんが、なぜ大日向小学校について印西市教育委員会が関心を持ったのかが気になりました。

回答 市の教育について考えるうえで、「子どもの主体性や多様性を尊重した教育をこれからの学校現場でどう実現するか」という論点で議論を進める必要があると考え、イエナプラン教育の理念や大日向小学校が実践している「子ども一人ひとりを尊重し、主体的な学びを育む教育」は、これからの教育を考える上で参考になる点が多いと感じ、校長である久保先生を講師としてお招きいたしました。

その他、いただいたご意見

- ・不登校2人の子の保護者です。教育について考えていただきありがとうございます。お話の中でもあったようにそれぞれにあった教育が選べるといいと思います。イエナプランの考えに基づいた公立小中学校を、希望する先生を配置いただき、1校でも、いずれ高校までが理想ですが、市内にできて選択して通えたらとてもありがたいです。YouTube 配信をしていただきありがとうございました。
- ・イエナプランはまず理念。現在の学校体制でも校長のリーダーシップしだいで教科学習、総合学習、行事などで活用できる場所は多々ある。教員は教え込む技術を追究して研修し一斉授業のウデを磨いてきたが、これを学び手主体に発話を転換させることをすべての学校活動の基礎とするべき。印西市立の小中学校でイエナを採り入れるならば「絶対的人事権」を校長に与える必要あり。市教委と県教委に同一の改革理念があることが前提。それ以前にイエナプランを実践できる校長を育てることですね。
- ・久保先生 お話、大変感動しました。贅沢な時間でした。私はわが子が不登校になった当初、こどもの命の形を変えようと必死でした。でも世界の教育を知り愕然としました。世界には多様な教育の選択肢があり、多様な人権を尊重する社会の仕組みがすでにできていることに。そしてオルタナティブ教育に出会い、人間が戦争の武器の一部と化した背景に生まれた教育であることを知り、「命」と誠実に向き合い、「命を中心に学びをつくる」というあり方に感銘を受けました。先生は「こどもがこたえ」だと、おっしゃ

っていましたね。私も教育の評価は、「こども」であるべきだと思っています。本当にこの教育でいいのか、この道でいいのか、迷ってばかりで間違うこともたくさんありますが、子どもを道しるべに、毎日楽しくもがいています。この印西市には、子どもの幸せを願い、情熱ある先生方はたくさんいます。しかし、不登校が急増する中で、大事なことは「仕組み・システムの変革」なのかもしれませんね。大日向小学校の実践をこうしてみんなで学び合えたことは大変貴重な時間でした。大日向小学校に是非見学に行かせて頂きます。お話できてとても嬉しかったです。

- ・教育総合会議において市長が台本なくお話ししている様子に驚きました。他自治体ですが割と流れが決まっているので。自由な感じと市長のリーダーシップに感銘を受けました。そのような風土を持つ印西市の教育長がどんなお話をしたのかも気になりました。
- ・教育総合会議の Web 公開は画期的！ いや以前から教育総合会議というものがあったのか？ 市長が教育改革と向き合っていることはよくわかります。新住民が多いニュータウン地区の子どもたちに郷土意識が育つでしょうか。町の歴史を学び、地域活動に関わることによって、育った町に誇りを持つことは、国際人となる大事な素養です。ギガスクールに偏らず、地に足のついた学力形成のためにも、地域と学校の協働を図ってほしいですね。

※いただいたご意見につきましては、教育ビジョンの策定及び教育施策を進めていく上での参考とさせていただきます。